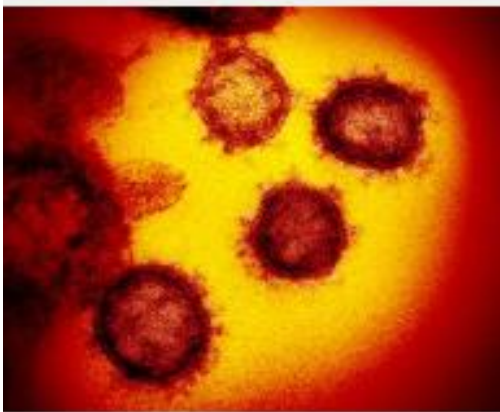


コロナ新規感染報告、2 万人超 1 機関当たり 5.53 人、厚労省

8 / 8 共同通信



厚生労働省は 8 日、全国約 3 千の定点医療機関から 7 月 28 日～8 月 3 日の 1 週間に報告された新型コロナウイルスの新規感染者数が 2 万 1365 人だったと発表した。2 万人を上回るのは、4 月に定点医療機関数が約 5 千から約 3 千に変更されて以降初めて。1 機関当たりの感染者数は 5.53 人。前週比 1.34 倍で 7 週連続の増加となった。

1 機関当たりの感染者数は、沖縄を除く 46 都道府県で増えた。1 機関当たりが最も多かったのは宮崎の 14.07 人で、沖縄 12.73 人、鹿児島 12.68 人と続いた。少なかったのは北海道 1.75 人、青森 2.27 人、香川 2.88 人などだった。

コロナ治療薬の処方率「14%」 支援終了前の水準へ、民間調査

8 / 8 共同通信

医療従事者向けサイトを運営する「エムスリー」は 8 日までに、全国約 7 千のクリニックから得た独自の診療データを分析したところ、新型コロナウイルス感染症と診断された患者のうち抗ウイルス薬を処方された割合（処方率）が、7 月時点で 14.5%だったとする調査結果を公表した。治療への公費支援が 2024 年 3 月末に終了し、処方率はいったん低下したが、徐々に増加して終了前の水準に戻りつつあるという。

同社の担当者は、増加の背景として、軽症の人が受診せず重症の人の割合が多くなっていることや、治療薬の必要性の認識が医療現場で広がっていることなどを挙げた。

3 種類の飲み薬を対象に分析した。通常の窓口負担は 1 万 5 千円から 3 万円ほどとされる。公費負担が終わる直前の 24 年 3 月は 15.0%で、終了後の翌 4 月に 10.5%に下がった。その後、重症化リスクのある患者も、そうではない患者も、処方率が徐々に増加していた。

24 年度の処方率を、データの少ない 12 県を除く 35 都道府県で算出すると、最高は群馬の 24.4%、最低は滋賀の 3.8%だった。

コロナ感染者数、21 週ぶり 2 万人超 - 定点報告数は 24 週ぶり 5 人台 厚労省

8/8 C B C ニュース

厚生労働省は 8 日、第 31 週（7 月 28 日～8 月 3 日）の新型コロナウイルスの新規感染者数が前週比 34.2%増の 2 万 1,365 人だったと発表した。2 万人を超えたのは第 10 週（3 月 3～9 日）の 2 万 41 人以来となる。

都道府県別では、東京の 1,866 人が最多で、次いで神奈川（1,749 人）、千葉（1,546 人）、埼玉（1,386 人）など。

全国の定点医療機関当たりの報告数は前週比 34.2%増の 5.53 人で、第 7 週（2 月 10～16 日）の 5.15 人以来の 5 人台となった。都道府県別の最多は宮崎の 14.07 人で、次いで沖縄（12.73 人）、鹿児島（12.68 人）、熊本（9.58 人）など